

## 第2回みどりの食料システム戦略本部 議事要旨

1. 日時：令和3年3月29日（月）18:00～18:10
2. 場所：農林水産省7階講堂
3. 出席者：野上農林水産大臣、葉梨農林水産副大臣、宮内農林水産副大臣、池田農林水産大臣政務官、熊野農林水産大臣政務官、事務次官、農林水産審議官、官房長、総括審議官、技術総括審議官兼技術会議事務局長、総括審議官（国際）、サイバーセキュリティ・情報化審議官、検査・監察部長、統計部長、消費・安全局審議官、食料産業局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、林野庁長官、水産庁長官、関東農政局長、報道官、秘書課長、文書課長、予算課長、政策課長、広報評価課長、地方課長

冒頭野上大臣御挨拶後、本部長代理である葉梨副大臣より、生産者、団体、企業等との意見交換会及びこれを踏まえた中間取りまとめ（案）について報告があり、熊野大臣政務官（みどりの食料システム戦略検討チーム長）より御発言をいただき、「みどりの食料システム戦略中間取りまとめ」が決定された。次に、宮内副大臣及び池田大臣政務官より御発言をいただき、最後に、大臣から締め括りの御発言をいただいた。

### 【冒頭御挨拶】

（野上大臣）「みどりの食料システム戦略」については、昨年12月に、この本部において「策定に当たっての考え方」を提示し、本年1月から、生産者や食品事業者等の幅広い関係者と、20回にわたって意見交換を行ってきた。

近年の食料・農林水産業を取り巻く状況は、生産者の減少・高齢化、地球温暖化や大規模災害の激甚化、新型コロナウイルス等の課題が顕在化していることに加えて、様々な産業で、SDGsや環境への対応が重視されるようになっており、農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務と考えている。また、EUや米国等の諸外国が食料・農林水産業の持続性に係る戦略を策定している中で、我が国としても、アジアモンスーン地域の持続的な食料システムを発信していくことが重要であると考えている。本日は、これまでの意見交換会の結果を踏まえて、本部長代理の葉梨副大臣より中間取りまとめの案を御報告いただく予定である。その上で、本部として中間取りまとめを決定し、5月の策定に向けて引き続き御議論いただきたいと考えているのでよろしく願いたい。

（以上）